

まるっと納得！ 半導体らぼ Vol.2

バリュエーションと企業成長からみる 半導体関連株式の「いま」



サクッと早わかりポイント！

- 足元は半導体関連株式の調整が続く一方、AI関連を中心に半導体企業の予想EPSは上昇
- 予想PERは2022年頃と同水準まで低下、相対的に割安な水準とみられる
- 過去に予想PERが足元と同水準の際に投資をした場合、1年後の平均リターンは約+28%



半導体関連株式の予想EPS(1株当たり利益)は上昇

半導体関連株式は6月下旬に高値を付けた後、足元は調整局面が続いています。一方、半導体関連株式の多くの企業において予想EPSは上昇しています。

予想EPS上昇の背景には、ハイパースケーラー*1のAIインフラ投資が継続していることがあります。TSMCは決算発表で通期の売上見通しを引き上げました。TSMCはエヌビディアやAMD、ブロードコム、アップルなどの最先端チップを受託製造しており、各社のAIチップはTSMCが生産しています。TSMCの売上見通しの引き上げは各社のAIチップの生産増加を示唆しており、AI関連の半導体需要の強さの裏付けとも言えます。

*1 クラウドサービス等を構築・運用する大手企業(アマゾン、マイクロソフト、アルファベット、メタなど)

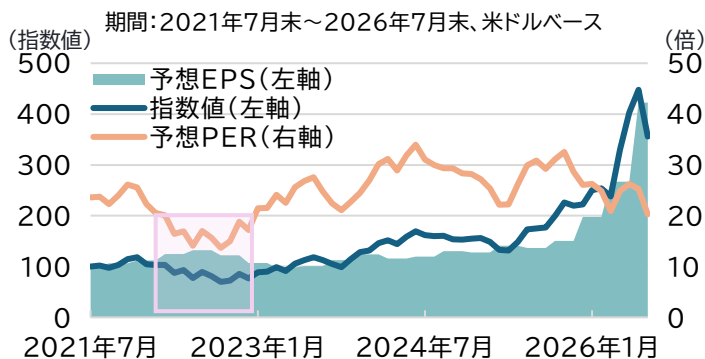


株価のバリュエーションは相対的に割安な水準とみられる

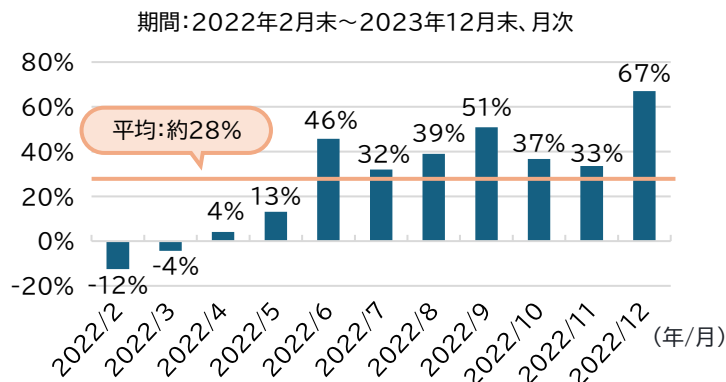
足元の半導体関連株式は、株価の調整に加え予想EPSの上昇により、予想PERは約20倍程度まで低下しています。この水準は過去と比較して割安な水準と考えられます。(2026年7月末時点)

2022年においても、株価が下落基調にあった一方で予想EPSは高水準で推移し、予想PERが足元の水準と同程度となりました。当該期間の各月末に半導体関連株式に投資を行った場合の1年後の騰落率は平均で約28%上昇となっています。

半導体関連株式の指数値・EPS・PER



2022年の割安局面における1年後の株価騰落率*2



EPSってなに？

▶▶ 1株当たりの利益(当期純利益を発行株数で割ったもの)
 わかること ▶ 企業の収益性や成長性
 見方 ▶ 数値が高いほど企業の収益性が高く投資先として魅力的
 予想EPSとは ▶ 将来的な収益力を図るもの

PERってなに？

▶▶ 株価の収益率(株価をEPS(企業の収益性)で割ったもの)
 わかること ▶ 今の株価が収益性に対して割高か割安か、市場の成長期待
 見方 ▶ 数値が高いほど割高、低いほど割安に評価されている
 予想PERとは ▶ 将来の収益見通しに対し今の株価は割高か割安かを評価

*2 半導体関連株式の予想PERが20倍程度以下の2022年2月~2022年12月の月末に投資した場合の1年後の騰落率(費用控除前)。グラフの横軸は投資開始月を示しています。
 ※半導体関連株式はフィラデルフィア半導体株指数(SOX指数)(配当込み、米ドルベース)を使用しています。
 ※半導体関連株式の指数値(月次ベース)、予想EPS(四半期ベース)は期初を100として指数化。予想PERは月次ベース。
 出所: フィデリティ投信、ファクトセット、各種資料をもとに明治安田アセットマネジメント作成



ご留意事項

- 本資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- 投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。また、ご自身でご判断ください。
- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、投資元本を割り込み、損失を被ることがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します（外貨建資産を組入れる場合は、為替変動リスクもあります）。投資信託の運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、また、登録金融機関から購入された投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。
- 本資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、本資料の記載内容、グラフ・数値等は資料作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料中に例示した個別銘柄について、当該銘柄の推奨または投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。